

公益財団法人小山台教育財団 平成 29 年度事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人小山台教育財団は、平成 29 年度に新事業として海外チャレンジ支援第 1 回助成金の支給及び小山台会館空調設備の一括更工事を実施した。また、我が国のグローバル化が進む中で国際交流事業を取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえて、当財団における当該事業の在り方について見直すため平成 29 年度に事業評価プロジェクトを発足させた。平成 29 年度における事業別の実施状況は以下の通り。

I. 国際交流事業（公益目的事業）

国際交流を通じて青少年の国際相互理解教育および異文化体験を行うとともに、真に日本を理解する能力を育てるために語学研修派遣、交換留学及び海外チャレンジ支援を実施した。

1. 英国語学研修派遣

英国ボーンマス市に派遣し、ホームステイをしながらキングス・カレッジで世界各国の青少年とともに語学研修を受講するプログラム。派遣時高校 1 年生はサマーバケーションエキストラコース、高校 2 年生以上はインテンシブコースの研修を受講した。大学生リーダー 1 名が同行し、現地におけるとりまとめの役割を果たした。

(1) 参加者：品川区にある都立高等学校生徒及びその卒業生である大学生、合計 20 名。

(2) 期間：平成 29 年 7 月 30 日～8 月 20 日（22 日間）。

2. 英国交換留学派遣

英国・ブリッドポート市における N P O 法人 Bridport Young Persons' Action Trust と連携して、英国に派遣と受入を隔年に行うもので、平成 29 年度は英国派遣の年にあたり、英国人家庭でホームステイをしながら青少年及び家族との交流をおこなった。大学生リーダー 1 名及び財団関係者 1 名が同行し、現地におけるとりまとめの役割を果たした。

(1) 参加者：品川区にある都立高等学校生徒及びその卒業生である大学生 6 名並びに財団関係者 1 名、合計 7 名。

(2) 期間：平成 29 年 7 月 30 日～8 月 20 日（22 日間）。

3. ドイツ交換留学受入

ドイツ・ベルリン市の私立カニジウスコレク・ギムナジウム校との連携により、学生のドイツ派遣と日本受入を原則として隔年に行うもので、平成 29 年度は日本受入を実施した。前年度ドイツに交換留学派遣した日本側生徒の家庭がホストフ

ファミリーとしてドイツからの学生を受入れ、剣道・茶道等クラブ活動の体験及び日本の史跡・名所の視察・訪問等を通じて、日独学生の相互理解・国際交流を推進した。

(1) 参加者：カニジウス校生徒 9 名及び引率者 1 名、合計 10 名。

(2) 期間：平成 29 年 8 月 2 日～8 月 22 日 (21 日間)。

4. 台湾交換留学派遣

日本側学生を台湾における連携先である環球科技大学に毎年派遣している。台湾側学生と一緒に大学における講義および体験学習を受講し、現地の歴史・文化に触れるとともに国際交流を推進した。大学生リーダー 1 名及び財団関係者 1 名が同行し、現地におけるとりまとめの役割を果たした。

(1) 参加者：品川区にある都立高等学校の卒業生である大学生 9 名及び財団関係者 1 名、合計 10 名。

(2) 期間：平成 30 年 3 月 8 日～15 日 (8 日間)。

5. 海外チャレンジ支援

海外における留学・研修・専門的研究・インターンシップ・ボランティア・芸術・スポーツ等の活動を通じて国際的視野に立脚した教育機会ないし目的達成のための研鑽に必要となる費用の一部を助成するプログラム。助成対象者は品川区にある都立高等学校の卒業生である大学生。4 名に対して助成金を支給した。

(1) 長期留学助成受給者：4 名

留学先：ヨークセントジョン大学 (英国)、ニューキャッスル大学 (英国)、ウェスタンミシガン大学 (米国)、チリ・カトリック大学 (チリ) 各 1 名

(2) 短期研修助成受給者及び多様性キャリア開発助成受給者：なし

II. 奨学育英事業

1. 在品川区都立高校向け奨学育英事業(公益目的事業)

品川区にある都立高等学校に在学する就学意欲のある有為な生徒で、経済的理由で学業が困難なものに対して奨学金の給付を実施した。

(1) 一般奨学金 (32 名)

①対象：高校 2 年生以上の生徒。

②給付額：4 月から翌年 1 月まで月額 1 万 5 千円 (1 人、年間 15 万円)。

(2) 臨時奨学金 (11 名)

①対象：高校 1 年生若しくは家庭状況の急変等で緊急に援助が必要になった生徒。

②給付額：9 月から翌年 1 月まで月額 1 万 5 千円 (1 人、年間 7 万 5 千円)。

2. 都立千歳丘高校向け奨学育英事業(相互扶助等事業)

都立千歳丘高校関連財団丘和会から当財団が受領した寄付金を原資として、千歳丘高校生徒に対する育英奨学金として特別奨学金を支給した。

(1) 特別奨学金 (2名)

- ① 対象：千歳丘高校生徒
- ② 給付額：9月から翌年1月まで月額2万円(1人、年間10万円)

Ⅲ. 社会教育事業 (公益目的事業)

社会公共の教育及び文化の発展に寄与するため、地域住民等に対する生涯学習の推進及び文化の向上に関する事業を実施した。

1. 公開文化講座

地域住民等に対する公開文化講座を実施した。また、近隣住民に対して音楽を通じた憩いの場を提供するランチタイムコンサートの催しを開始した。

- (1) 募集対象 主として品川区、大田区、目黒区の住民。
- (2) 開催実績：公開文化講座8回、ランチタイムコンサート10回。
- (3) 講座内容：文化、健康、音楽等をテーマとする講座およびコンサート。

2. 寺子屋小山台

企業の第一線で活躍するビジネスマンを対象として日本社会の中核を担う人材を育成するためのリーダー養成講座を実施した。

- (1) 募集対象：品川区にある都立高等学校の卒業生を中心とする社会人。
- (2) 開催実績：9回。
- (3) 講座内容：政治・経済・国際関係等をテーマとする講義および討論。

3. 中学校のクラブ活動の支援

小山台高等学校が中学校の課外クラブを対象として行う技術等の向上のための講習会の開催を支援した。

- (1) 受講対象：品川区、大田区、目黒区の中学校課外クラブ部員。
- (2) 開催実績：6回。
- (3) 活動内容：硬式テニス技術講習会、剣道技術講習会、バスケットボール技術講習会、管打楽器講習会、理科実験教室。

4. 暮らしに役立つ講座

社会保険労務士、行政書士、介護福祉士、税理士を講師として日々の生活に役立つテーマを取り上げて解説する講座を実施した。

- (1) 募集対象：品川区にある都立高等学校生徒の保護者ならびに近隣住民。
- (2) 開催実績：3回。
- (3) 講座内容：確定申告を行う場合の留意点、相続の基本・遺言書作成のポイント、資産税のポイント。

IV. 学校教育事業（相互扶助等事業）

都立小山台高等学校の教育環境の整備を図ること並びに小山台高等学校生徒の健全な心身の育成を増進するために、小山台高等学校に対し下記支援活動を実施した。

1. 進路指導・学力向上助成。
2. 学校行事・班活動助成。
3. 学校広報助成。
4. 定時制助成

V. 海外派遣者ネットワーク事業（相互扶助等事業）

当財団が実施する国際交流事業に参加した海外派遣経験者を主体とする会員組織を通じて、これら派遣経験者間の相互交流・海外からの交換経験者との交流・その他海外からの来日者との交流等の活動を実施した。

1. 国際的相互交流活動

当財団の海外における連携先を通じて来日した海外からの交換経験者と会員との交流活動
開催実績：1回

2. 会員並びに学生との相互交流活動

会員相互並びに会員と当財団の国際交流事業における語学・交換派遣生乃至参加経験をもつ学生との交流活動。 開催実績：4回

3. 会員及び当財団役職員等への情報提供

会員及び学生、財団役職員等に向けた活動の告知・実績紹介等の広報活動。
広報誌の発行
発行実績：2回

VI. 会館運営事業（相互扶助等事業）

小山台会館の会議室・ホールを財団内の打合せに加えて教育・福祉増進・文化の向上等に資する会議・会合・懇親の会場として運営した。また、小山台会館の諸設備の状況を精査のうえ策定した長期修繕計画にもとづき、空調設備一括更新、非常用放送設備更新等の改修を実施した。

年間利用実績：1,918件

VII. 財務

当財団の事業の更なる発展を期して、次世代を担う高校生・大学生の育成を主眼とする特定寄附金及び使途の指定のない一般寄附金の募集を実施、多数の方々からの寄附金が寄せられ、当財団事業を支える財務基盤の強化に貢献した。 以上

平成 29 年度事業報告の附属明細表
(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

I. 国際交流事業

1. 英国語学研修派遣 20 名

	男子	女子	合 計
高校生	8	9	17
大学生	2	1	3
合 計	10	10	20

2. 英国交換留学派遣 6 名

	男子	女子	合 計
高校生	2	3	5
大学生	0	1	1
合 計	2	4	6

3. ドイツ交換留学受入 9 名

	男子	女子	合計
高校生	3	5	8
大学生	1	0	1
合 計	4	5	9

4. 台湾交換留学派遣 9 名

	男子	女子	合 計
大学生	2	7	9
合 計	2	7	9

5. 海外チャレンジ支援 4 名

区分	男子	女子	合 計
長期留学	1	3	4
短期研修	0	0	0
多様性キャリア開発	0	0	0
合 計	1	3	4

II. 奨学育英事業

1. 一般奨学金 32名

高校	男子	女子	合計
小山台	7	7	14
大崎	5	10	15
八潮	3	0	3
合計	15	17	32

2. 臨時奨学金 11名

高校	男子	女子	合計
小山台	0	4	4
大崎	3	4	7
八潮	0	0	0
合計	3	8	11

3. 特別奨学金 2名

高校	男子	女子	合計
千歳丘	0	2	2

Ⅲ. 社会教育事業

1. 公開文化講座(場所：小山台会館)

講師	題目	来場者数
中岡 望	政治思想から見たトランプ大統領の評価	64
秋山 隆	話し言葉は音の言葉	102
石川 勝敏	気象変化がからだに与える影響	90
野口 千代子	ボイストレーニングの実践法	124
樹原 涼子	時代とともに変わる音楽教育	55
田中 鳴舟	生涯学習としてのペン習字	41
清水 多江子	ヨーガ体験 一緒にヨーガを	40
加納 民夫	レクチャーコンサート	107
	合計	623

ランチタイムコンサート(場所：小山台会館)

月	出演者名	演奏	来場者数 (概算)
4月	室井佳子 藍沢晶子	フルート ピアノ	62
5月	守山友季恵 山口愛 宮尾夕華 沢田千秋	声楽	61

6月	塚田めぐみ 新井千晶 沢田 千秋	声楽	46
7月	メジティ綾 沢田千秋	ピアノ連弾	60
8月	原香奈恵 沢田千秋	ヴィオラ	60
9月	平山 麻美 沢田 千秋	ピアノ	46
10月	赤木智美 沢田千秋	クラリネット	42
11月	關奈々子 沢田千秋	ピアノ	33
12月	会館工事中		—
1月	会館工事中		—
2月	荻野 亜友子 古性美紀 關奈々子 沢田千秋	ピアノ	38
3月	小山台高校 プラスバンド班	アンサンブル	76
合計			524

2. 寺子屋小山台(場所:小山台会館)

	講師	内容	参加者数
プレ	福川 伸次	受講生にのぞむこと	15
	藤井 浩行	「自分が源泉」というあり方	
1	大澤 佳雄	リーダーシップ論	13
2	北野 尚宏	国際貢献	10
3	川上 高志	日本の政治について	11
4	植木 英次	NTTデータの事業戦略とデジタル革命への対応	13
5	辻 智子	経営戦略(食と健康について)	14
6	朱 建榮	中国から見た日本	13
7	福川 伸次	これからの日本	13
8		受講生発表	14
	合計		116

3. 中学校クラブ活動支援

活動内容	日付	参加者数
硬式テニス技術講習会	11月5日	22
剣道技術講習会	11月12日	40
バスケットボール技術講習会(男子)	10月1日	90
バスケットボール技術講習会(女子)	3月17日	5
管打楽器講習会	2月4日	424

理科実験教室	11月11日	30
合計		611

4. 暮らしに役立つ講座（場所：小山台会館）

	講座名	講師	来場者数
1	確定申告を行う場合の留意点	税理士 原田 文香	50
2	相続の基本・遺言書を作成するときのポイント	社会福祉士 行政書士 関孝和 社労士 行政書士 喜多村郁子	43
3	押さえておくべき資産税のポイント	税理士 原田 文香	46
	合計		139

IV. 学校教育事業

分類	事業名
進路指導・学力向上	キャリア教育推進
	サテライト講習
	小論文特別講習
	2学年勉強合宿補助
	大学入試過去問題集
	進路指導用資料
	理科講義実験
学校行事・班活動補助	合唱コンクール
	運動会物品購入
	運動会団席設置
	運動会医師等謝礼
	マラソン大会
	夏季合宿コーチ経費助成
	ブラスバンド班演奏会
	スポーツトレーナー講習会
	テーピング講習会
	班活動物品購入
	施設賠償責任保険
	保健室生徒対応補助
貸与楽器保険	

学校広報	学校案内パンフレット作成費
	学校案内ポスター作成費
	学校広報活動費
定時制	実習教材援助費
	キャリア教室謝金
	教科活動特別助成
	人権教育推進
	健康教育推進
	授業講師・班活コーチ費用助成
	学校行事助成費
	生徒褒賞費
	班活動助成費
	学習・生活相談支援

V. 海外派遣ネットワーク（相互扶助等事業）

1. 国際的相互交流活動

活動内容	日付	参加者数
台湾からの来日者を囲む会	7月23日	22
合計		

2. 会員並びに学生との相互交流活動

活動内容	日付	参加者数
講演・体験 保育士/幼稚園教諭の仕事とエプロンシアター実践	6月25日	6
講演 商社の仕事とドイツ事情・欧州事情	9月3日	12
講演 東京を知ろう！	10月22日	12
講義 台湾事情	3月24日	41
合計		71

3. 会員及び当財団役職員等への情報提供

活動内容	日付	発行部数
第4号広報誌発行	4月2日	533
第5号広報誌発行	10月22日	540
合計		1,073

VI. 会館運営事業
会館利用状況

施設名	収容人数	年間利用件数
203 会議室	20	157
204 会議室	20	232
205 会議室	55	233
207 音楽室	45	315
301 会議室	8	133
302 会議室	8	147
303 中ホール	50	182
304 大ホール	130	332
B01 談話室	40	143
10A 多目的ホール	—	44
合計	376	1,918

以上